

その他の職業学科は男女ともに増加した。特に工業科の女子が三・五ポイント、商業科の女子が一・九ポイント、家庭科が二・五ポイントと大幅に増加した。

また、その他の学科(理数科、文理科、国際文化科、英語科)においては、男子は一・七ポイント、女子は三・二ポイント増加した。

(2) 専修学校等への入学(表1・2、表3・1・2、表6参照)

専修学校等(予備校を含む)への入学者は、男子三千三百六十八人(入学率二八・〇パーセント)、女子二千八百三十三人(同二五・四パーセント)である。

前年度に比して、男子は〇・五ポイント減少し、女子は一・三ポイント増加した。

学科別にみると、普通科の男子、工業科の男女、家庭科、その他の学科の男女とも、減少したが、普通科の女子、農業科・水産科、商業科の男女は増加した。

なお、予備校入学者を含まない専修学校等入学者は、四千四百十五人(入学率一九・一パーセント)で、前年度より〇・六ポイント増加した。

(3) 次年度進学希望者(表2、表3・1参照)

次年度進学希望者数は、男子千七百十九人(四四・三パーセント)、女

子六百三十七人(五・七パーセント)である。

全体では、一〇・二パーセントであり、前年度より〇・五ポイント増加した。

五十三年度以降十パーセントを前後しており、最高は六十二年度の十・七パーセント、最低は五十九年度の九・〇パーセントである。

(4) 学部別進学者・入学者(表4参照)

進学者総数六千二百三人の内訳は文科系三千七人(四十八・五パーセント)、理科系千四百五十七人(二十三・五パーセント)、その他千七百三十九人(二十八・〇パーセント)となっている。

(5) 大学別進学者(表5参照)

表5は進学した主な大学について進学者の実数を示したものである。五年度卒業生の国立大学への進学者は、全体で前年度より二十六人減少した。

大学別では、福島大学が前年度より十八人増加した。

このほか、前年度に比べて増加した主な大学は、筑波大学の十人増、茨城大学の九人増、宇都宮大学の六人増などであり、一方減少したのは東北大学の十六人減、新潟大学の十三人減などである。

表2 平成5年度進学者実数(公立全日制)

学科別	性別	卒業生数	進 学 者 数						専修学校等入学者(予備校を除く)	次年度進学希望者
			計	大 学			短期大学	その他		
				国 立	公 立	私 立				
普通科	男	6,661	2,160	550	75	1,449	61	25	1,126	1,520
	女	7,398	2,857	400	42	956	1,443	16	1,682	599
	計	14,059	5,017	950	117	2,405	1,504	41	2,808	2,119
農業科 水産科	男	1,094	40	0	0	14	13	13	137	4
	女	338	23	0	0	3	19	1	45	1
	計	1,432	63	0	0	17	32	14	182	5
工業科	男	2,829	180	6	3	145	23	3	454	73
	女	306	32	3	0	7	21	1	37	3
	計	3,135	212	9	3	152	44	4	491	76
商業科	男	1,188	146	5	0	112	21	8	314	35
	女	1,806	234	4	1	34	191	4	368	3
	計	2,994	380	9	1	146	212	12	682	38
家庭科	女	861	123	0	0	12	109	2	160	0
	男	254	117	23	8	85	1	0	28	87
その他	女	439	291	10	4	164	113	0	64	31
	計	693	408	33	12	249	114	0	92	118
	男	12,026	2,643	584	86	1,805	119	49	2,059	1,719
全日制 合計	女	11,148	3,560	417	47	1,176	1,896	24	2,356	637
	計	23,174	6,203	1,001	133	2,981	2,015	73	4,415	2,356